ー高知県東部の整形外科の特徴と当科の果たす役割についてー

日本整形外科学会専門医
日本リハビリテーション医学会専門医
日本体育協会スポーツドクター
高知大学医学部臨床教授
日本肩関節学会評議員
リハビリ・スポーツ医学部長
森澤 豊 医師
Yutaka Morisawa

整形外科
Orthopedics

1. 東部の整形外科の特徴

高知県東部地域は総人口の減少に伴い、高齢者の増加が著明です。今後の日本社会を予想させる人口構成変化が、本地域では象徴的かつ着実に進行しています。医療においても、高齢者の方々の健康維持を図る必要性が、新聞でも大きく取り上げられてきました。整形外科はこうした高齢者の生活を支えるために、大きな役割を担っています。それは当院整形外科手術での疾患分布 (表 1) にも現れており、早急な対策や予防が必要とされています。

2. 大腿骨頚部骨折が 1 位

平成 25 年度の整形外科疾患別で、当院では大腿骨頚部骨折が 1 位となっています。これは、高齢者の方の転倒による骨折が圧迫骨折とともに非常に多く、大腿骨頚部骨折では治療のほとんどが手術となることを表しています。

加齢により人の骨は密度や強度が低下し、転倒により容易に骨折を生じてしまいます。特に女性は、閉経以後から骨密度が急速に減少して、骨の強度が減少 (骨粗鬆症) することが知られています。40 ～ 50 歳であれば打撲や捻挫ですむ外傷も、60 ～ 80 歳になるに従い骨折の危険性が増大します（図 1 ）。

3. 県立あき総合病院での整形外科の診療体制

日常での怪我により骨折を生じ、そのため全身状態に関わる合併症を発生すると、身体的にも精神的にも大きな制約や損失を被ることになります。従って県立あき総合病院では急性期にこうした方々を受け入れ、速やかに治療を行い早期に活動性を取り戻す医療活動に日々邁進しています。整形外科では全身状態を把握した後、手術により骨折部の整復や接合を行うことで全身状態の改善を図り、リハビリテーションを通じて生活動作を再獲得する取り組みを続けています。

当院では、大腿骨頚部や膝関節、足関節の骨折や脱臼などにも安定した治療成績をあげてきました。現在、当院整形外科は常勤 3 名（森澤、今里、佐竹）と非常勤 2 名のスタッフで診療にあたっております。今里は下肢の骨折を専門とし、佐竹は骨折全般に精通しており、森澤は肩および上肢の筋腱や神経の損傷を専門としています。

4. 今後の展望・抱負

救急体制の拡充と地域の病院や診療所と連携し、治療の流れをより円滑にし、住民の方々の社会生活や行動を支えることに力を注いでいこうと考えています。整形外科の中でもさらに専門的治療が必要な疾患の方には、レベルの高い対策が取れるような治療方法を選択し、さらに他病院とのより緊密な連携を図るよう取り組んでまいります。高知県東部での医療を県立あき総合病院で完結し、皆様が安心して暮らしていけるよう、急性期医療を端緒に整形外科治療を展開していこうと考えます。

図 1 ：大腿骨頚部骨折の年齢別

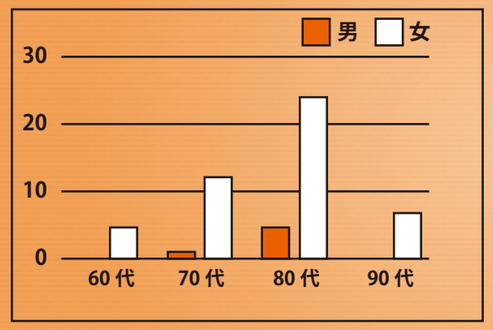

表 1 ：整形外科手術の疾患分布

第 1 位	骨折観血的手術 (大腿)　《内固定を行う》
第 2 位	人工骨頭挿入術 (股)
第 3 位	骨折観血的手術 (前腕)　《内固定を行う》
第 4 位	関節内骨折観血的手術 (股)　《内固定を行う》
第 5 位	肩腱板断裂手術 (簡単)
第 6 位	骨折観血的手術 (下腿)　《内固定を行う》
第 7 位	骨折観血的手術 (上腕)　《内固定を行う》
第 8 位	関節脱臼非観血的整復術 (肩)
第 9 位	手根管開放手術
第 10 位	アキレス腱断裂手術